シヤチハタ デザインコンペ

4月1日より作品の募集を開始

テーマは「思いもよらないしるし」

一般社団法人未来ものづくり振興会が主催し、シヤチハタ株式会社（舟橋正剛社長、名古屋市）が協賛する「第16回シヤチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション」は、4月1日より作品募集を開始する。

同コンペは、商品化を前提に今までにないプロダクトデザインを求めるコンペティション。2022年に開催した第15回では975作品の応募があり、その中から8点を受賞作品として決定した。

第16回のテーマは「思いもよらないしるし」。

「しるし」の概念の根底に立ち返ることで生まれる価値や、見落としていたしるしの意味に気づかせてくれるような存在、そんな本質的な驚きを期待しており、これまでの技術を見直し、常識を疑うようなしるしのあり方を提案してほしいとしている。

審査員は、中村勇吾氏、原研哉氏、深澤直人氏、三澤遥氏の4名に加え、ゲスト審査員として武井祥平氏を新たに迎えた。

受賞作品は、グランプリ1作品（賞金300万円）、準グランプリ2作品（賞金50万円）、審査員賞5作品（賞金20万円）、特別審査員賞1作品（賞金20万円）の計9作品となり商品化を検討する。

応募受付期間は4月1日～5月31日12時。「しるし」が持つ可能性を広げるプロダクトもしくは、仕組みを提案してほしいとしている。

応募作品は未発表のオリジナル作品に限り、参加資格は個人、グループ及び企業、団体。年齢、性別、職業、国籍不問（日本語でのコミュニケーションが可能であること）。

1次審査を通過した場合、2023年9月1日までに、模型制作が可能であること。入賞した場合、10月13日18時（予定）から東京都内で行われる表彰式に参加が可能なこと。

1人または、1グループで複数作品の応募が可能。事前エントリーは1応募につき、1エントリー。全ての受賞作品が、商品化の対象となり、同コンペの公式サイトで公開される。

一次審査提出物は、プレゼンシート（サイズA3、枚数1枚、形式はPDF、容量10MB以内）。

審査基準は①テーマの理解力②新規性・革新性③提案の実現性。

応募方法は公式サイト（https://sndc.design）から。

デザインコンペの開催告知

京都特別企画

「技」に焦点当て

京都ギフトショー 多彩な商材で会場構成

第4回「京都インターナショナル・ギフト・ショー2023」は、3月8、9日に京都市勧業館「みやこめっせ」で開催、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を徹底しながら会場を構成し、2日間で延べ1万6455人が来場した。

今回は294社が出展したが、京都府内からの出展が全体の半数を占め、日本の伝統産業から生まれ、伝承されてきた職人の技をモダンにアレンジした商品や、デザイン雑貨、インテリア雑貨、ステーショナリー、お土産品、SP商品など多彩な商材で構成した。

おみやげ品コンテストの会場

会場では、衣（服飾雑貨、衣類、アクセサリーなど、身に纏うものと美容関連商品など）、食（食品、飲料水、地場特産品、キッチン商品など、食べ物とそれにまつわる調理器具）、住（インテリア雑貨、家具、陶器、ペット用品など）、法人ギフトなどを一堂に展示してアピールした。

また、京都特別企画として「WAZA博」を併催。金彩、指物、寄木、溶接、箔押など「技」に焦点を当てることで、さらなるビジネス広がりの場を提供した。

おみやげ品コンテストの結果は次の通り。

【グランプリ】ユニメットコースター「ケヤキ」（unimet）。

【大賞】製品部門＝CAMPING HANABI什器セット（葛城煙火）。

【準大賞】製品部門＝刺繍入りミニ畳（畳工房ヨシオカ）。食品部門＝横浜ハイカラ クリエイターズバッケージ（エクラスト）。

【審査員特別賞】小さなてまりアクセサリー（ito＋「イトタス」）。うるしまめさらウクライナデザイン（井助商店）。

また、会場で展示されていた商品が生みだされる現場を気軽に見学できる「オープンファクトリーデイ」を、ショー明けの3月10日に実施した。

国産材・地域材を活用した木製ベンチ

Co-Design Challenge プログラムに採択

コクヨが関西万博で

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、2025年日本国際博覧会（略称＝大阪・関西万博）において、国産材・地域材を活用した木製ベンチが、運営参加の特別プログラムとして新たに実施する「Co-Design Challenge（コ・デザイン チャレンジ）」に採択された。

「Co-Design Challenge」プログラムは、様々な物品やサービスを対象に、万博という機会を活用し、また新たに開発することを通じて現在の社会課題の解決や、アウトカム（万博が目指す未来社会）の実現を目指すもの。

コクヨは、2022年7月に資本業務提携をした、デジタルファブリケーション技術のノウハウや、加工・製作のプラットフォームを持つVUILD株式会社の協力のもと、日本全国の国産材、地域材を活用した木製ベンチを製作し、大阪・関西万博会場に設置する予定。

このベンチを来場者に利用してもらうことで環境問題への意識付けや参加意識の醸成、大阪・関西万博会場と日本全国を結ぶことを目指し、この取り組みを通じて、未来のあるべき社会について探求するとともに、長期ビジョンの実現に繋げていく。

東京都台東区立

松葉小が全国1位

ショウワノート ベルマークキャンペーン

ショウワノート株式会社（中条宏志社長、東京都）が2022年1月1日～12月31日まで実施した「第49回ベルマークキャンペーン」の表彰校が決定し、全国1位には9378点を集めた東京都台東区立松葉小学校が輝いた。各ブロックの上位校は次の通り。

全国1位＝東京都台東区立松葉小学校9378点。

北海道・東北＝①国立大学法人宮城教育大学附属小学校（宮城県）4800点②石川町立石川小学校（福島県）3087点。

関東＝①習志野市立谷津小学校9015点②日高市立高麗川小学校7594点③市原市立ちはら台桜小学校5203点。

東京＝①国立大学法人東京学芸大学附属大泉小学校7823点②杉並区立高井戸第二小学校7059点③練馬区立光が丘四季の香小学校。

北陸・甲信越＝魚津市立清流小学校5219点②高岡市立福岡小学校4168点。

近畿＝学校法人四條畷学園小学校5986点②大阪市立常盤小学校5099点。

中国・四国＝①倉敷市立茶屋町小学校4178点②尾道市立日比崎小学校3153点。

九州・沖縄＝那覇市立小禄小学校6733点②久留米市立南小学校6658点。

全国（小学校以外の部）＝伊那市立東部中学校4678点。

「トークぬりえ」提供

マルアイ 介護レクリエーションに

株式会社マルアイは、介護事業者が施設内で実施する介護レクリエーションにおいて、介護従事者の負担を減らし、利用者のマンネリを防ぐ新サービス「まるレク便 トークぬりえ」の提供を開始した。

介護施設では、体操・カラオケ・ぬりえなどの手軽に行えるレクリエーションがよく実施されているが、利用者の多くが親しみやすい内容である一方、マンネリ化し「飽きた」「参加したくない」といった利用者からの声が寄せられ、課題感を抱えている介護事業者も多くいる。しかしレクリエーションへの苦手意識だけでなく、介助やケア、既存のレクリエーション運営の業務で手一杯の状況であり、改善に向けた取り組みが行えていないのが実情。

「トークぬりえ」は、事前準備からアイスブレイク、実施までのレクリエーション業務のプログラムと、レク素材のぬりえをパッケージ化したソリューション。

一連のプログラムを実施するだけで、誰でも簡単に盛り上がる、コミュニケーション活動を提供することができる。介護事業所は平準化したレクリエーション活動の運営が可能になり、レクリエーション活動の実施に苦手意識を持つ介護従事者の不安の軽減にもつながる。

「トークぬりえ」の完成作品

提供するぬりえは、1枚の大きなイラストを分割して9つのピースに分割されており、分割されていることにより、コロナ禍においても複数人で安心して取り組むことができる。また、9人で1枚のぬりえを完成させるため、ひとりで完成させる従来のぬりえよりもコミュニケーションが活性化しやすく、マンネリ化しづらい点が特徴。

ぬりえの絵柄は、旅の思い出や昔のおもちゃ・遊びなど大人が楽しめるデザインを採用している。

トークぬりえハーフセットの3カ月プラン6600円、6カ月プラン13200円。おためしセットの1回プランは3575円。各税込。

ショウワノートの物流業務受託

コクヨロジスティクス

コクヨグループのコクヨサプライロジスティクス株式会社（若林智樹社長、東京都）は、ショウワノート株式会社（中条宏志社長、富山県高岡市）の東日本エリアにおける物流業務を受託し、2月1日よりコクヨサプライロジスティクス茨城配送センター（茨城県常総市）で本格稼働を開始した。

今回の物流業務受託は両社の物流を集約することを通して、物流効率化と物流を取り巻く社会課題の解決に取り組むもの。

両社の物流拠点を統合し、商品の保管から荷扱、輸送までを集約・共同化することで、倉庫設備や作業人員など限られた物流リソースの有効活用と、物流ネットワークの共同利用等により輸配送の効率化の達成を目指している。

また、リソースの有効活用や輸配送の効率化により、2024年に控えるドライバーの労働時間規制、それに伴うドライバー不足や少子高齢化による労働人口の減少などの社会課題解決にも対応していく狙いがある。

スタロジー初の直営店オープン

ニトムズ

Nittoグループの株式会社ニトムズ（中村晃章社長、東京都）は、3月10日にグランドオープンした東京駅地下直結の複合施設「東京ミッドタウン八重洲」2階に、発売10周年を迎えるステーショナリーブランド「STALOGY（スタロジー）」の直営店「STALOGY東京ミッドタウン八重洲店」をオープンした。売場面積は約12坪。

新店舗は「あしたの仕事も頑張れるステーショナリーショップ」をコンセプトに、年齢や性別を問わず仕事のパートナーとなる良質なアイテム（500点以上）を提案する。

オープンに先駆けて、「STALOGY」の人気製品「365 デイズノート」の裏表紙デザインを募る「JAPAN」をテーマとしたデザインコンテストを開催し、優秀作品3点を店舗限定ノートとして商品化している。

東京ミッドタウン八重洲店

文具・事務用品・雑貨卸商社
紀寺商事株式会社
http://www.kitera-shouji.co.jp
■本　社
〒590-0025 堺市堺区向陵東町1丁8－9
TEL（072）259－1006代表
■東大阪支店
〒577-0013 東大阪市長田中4－6－33
TEL（06）6747－0098代表
■中もず営業所
〒591-8022 堺市北区金岡町3003-16-A号
TEL（072）255－6544代表
■アンテナショップ
ステーショナリーAURA（アウラ）
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-16-1
新大阪駅2階「アルデ新大阪」内
TEL（06）6303－8517
■関連会社
株式会社パトス（法人向け事務用品全般の納品）
AKG株式会社（3PL物流・人材派遣）

株式会社アケボノクラウン
本　社：〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番6号（大阪紙文具流通センター）
キタブツ関西DC：〒559-0032 大阪市住之江区南港南2丁目4番43号 GLP大阪6F
神戸支店：〒653-0852 神戸市長田区山下町2丁目2番8号
広島支店：〒731-0101 広島市安佐南区八木1丁目8番9号
福岡支店：〒812-0888 福岡市博多区板付6丁目3番6号
北陸営業所：〒920-0003 石川県金沢市疋田2丁目128番地
沖縄営業所：〒900-0024 沖縄県那覇市古波蔵3丁目3番6号
北海道クラウン
アケボノクラウン
新九州クラウン
青雲クラウン
クラウングループ
東京クラウン
静岡クラウン
福岡支店
広島支店
神戸支店
CROWN